

8月25日 朝の勉強会 テーマ「多発外傷」 T先生

70歳代女性 主訴：背部痛

背景：2015年に右乳癌術後。多発骨転移（Th9～Th12, L2, L4, 恥骨）

現病歴：X日に外で作業中、土手から約1m転落し、金属製の側溝の蓋で背部を強打。その際出血や目に見える外傷、頭部打撲はなし。左背部痛を自覚し、左肩挙上による疼痛、左肩挙上不良も認めた。転落後、疼痛悪化で歩行困難となり、当院救急外来を車椅子で受診した。

受診時バイタル：体温：36.7℃、脈拍65回/分、血圧157/84mmHg, SpO2: 96%（room air）、呼吸数24回/分

病的骨折

骨が脆いと、健康な骨ならば骨折を起こさないような小さな外力でも骨折してしまう：「病的骨折」

- 原疾患
- ・骨粗鬆症
 - ・原発性悪性骨腫瘍：
骨肉腫、軟骨肉腫、ユーイング肉腫、骨巨細胞腫
 - ・転移性骨腫瘍
- 割合：①乳癌（21.6%）②肺癌（21.2%）③前立腺癌（7.6%）
④腎細胞癌（7.5%）⑤胃癌（6.8%）⑥子宮癌（6.6%）

※参照 日本外科学会誌53(5)：724-728、2008

Take home message

外傷患者の診察では受傷機転に着目し、重症度、緊急度を推測する
外傷患者で一見身体が受けるエネルギーが少なそうな受傷機転でも、
骨粗鬆症、骨転移などの基礎疾患がある場合は、重症多発外傷を考慮する